

# 2025年度 異文化理解アンケート

実施期間：2025年11月27日（木）～12月15日（月） ※19日間

回答数：14件

---

---

## ① 異なる文化や価値観に出あって理解した経験を教えてください。

❖日本語学習時に、文章を読むことを初めてやりました。1年生教科書上「はなのみち」音読は完璧でした。しかし、学生さんの出身地はアフリカで日本の季節感とは違います。そのことを考慮していなかった私は、冬の始まりに落ちた種が暖かい風が吹き始めた春に芽吹くシーンを、当たり前のように彼が理解していると思い込んで授業をしたのです。地理的な違いを考慮して教材も選ばなくてはと自分を戒めました。

❖宗教と食文化、特にイスラム教

❖自分の国の歴史、国が持つ背景など、自国に対する深い認識を日本人の若者に比べ持っていると感じました、自国に対する誇りを強く持っているのではないかと感じました。

❖長年、国際交流などに携わってきたが、海外における日本文化は今では、様々な国の異文化の一つとしてとらえるべきで、特別なものではない、ことを実感している。例えば、東南アジアの国々において、日本文化と韓国文化を混同して受け入れられていることなど。

❖人としての基本的な感情や価値観は共通していると感じることが多い一方で、文化や慣習の面では違いを実感する場面もある。例えば、日本では感謝や謝罪をよく口にするが、ある文化では親しい関係だからこそあえて言葉にしないという考え方があると知り、なるほどと思った。また、時間の使い方や衛生観念は後天的に身につくものだが、長年の積み重ねで形成されているため、歩み寄るにはお互いの寛容さが必要だと感じている。

❖おにぎりイベントを通じて、、、同じように米を使っている、それぞれの文化圏で調理法が全く違いかたちで食べられていて面白かった。

❖異なる文化の衣装や食べ物に接してとても興味深かったしまた色々な国内の問題 貧困とか 産業の育成とかそういうものに留学生が燃えてるのを非常に頼もしく感じました 日本もうかうかできませ

んね。

❖韓国語を学んだ時期に、言語以上に文化の基層が似ていることで、様々に関心が広がりました。

❖別の NPO でチューターを担当したことがあるインドネシアの留学生がムスリムの人でしたが、レッスンの前後にメッカへのお祈りをすることが良くありました。

❖地元の教室で学習支援を担当したマレーシア出身の主婦が、母国の多文化の様子を教えてくださいました。

❖中国国民の考え方と同国政権の考え方のギャップ

❖イスラム教の人々にとっては、ラマダン断食期間が、その後の祝いの期間も含め、心にも身体にも良い、正月のような楽しいイベントであること。日本人の印象では、耐え忍ぶつらい期間だと思い込んでいた。

❖文化、価値観が、外国人留学生だからなのか、日本人でも同じなのか、キャラクターや世代間の違いなのか、理解はできませんが…。ボランティアと学生との距離感は、とても難しいと感じます。例えば、こちらは相談に乗ったり、アドバイスをしたりが当たり前だと思って対応していても、学生がそう思っているかは、確認するのが難しいと感じます。後から考えると、負担に思ったり、不満があっても、遠慮していたのかも、あるいは割りきっていたのかも、と思いました。

## ② 理解に至らなかったエピソードがあれば教えてください。

- ❖文化、価値観の違いを感じる場面はあまりなかったように思います。ただし、私が英語を使えないため、その機会を逸した可能性はあると思います。
- ❖日本語を話したい外国人、英語を話したい日本人の間で少々苦勞することがある。
- ❖以前、人種差別的な発言を耳にしたことがある。個人の性格による部分もあるのかもしれないが、「外国人」として差別されて悔しい思いをすることもあるだろうに、と残念な気持ちになった。
- ❖アフリカ出身の方に「日本と韓国の違いってなんですか？」と聞かれて、ぱっとうまく答えられませんでした。また、文字や言葉も違うのに、似ていると思われていることも驚きました。ただ、同時に、私自身がアフリカ大陸の国々の違いを理解していないなということにも改めて気づかされました。
- ❖「理解できない」というところまでの記憶はありません。ある意味、違って当たり前なので、それをどうやってお互いに擦り合わせるかを考えます。
- ❖尖閣諸島問題で中国から来た留学生と意見の食い違いがあった（民主党政権下）。報道と現実（真実）のギャップがある
- ❖人々が並んでいる列に割り込む人々の意識は、国内国外を問わず理解できない。
- ❖日本を選んで日本の大学で勉強して、日本で働いているのに、日本人の悪口ばかり言っている人がいる。そんなに文句を言うんだったら日本に来なければいいのに、そんな人は来なくていいのにな、と思う。

③留学生をはじめとする在住外国人（外国ルーツの人も含む）の方々と接するうえで、みなさんが気を付けている点や、このようなことがおもしろい！ 楽しい！ と思うようなことを教えてください。また、受け入れ側（サポートする側）だけでなく、先方からの働きかけ等の事例があれば教えてください。

❖できたら、会館を中心とする活動だけではなく、ボランティアさんの地域への招待やイベントの紹介などをすると、つながりも深くなると思います。何よりもご本人が受け入れてもらっていると、温かい気持ちになれるのではないのでしょうか。

❖留学生に寄り添い、常に全力投球で臨むと、結果として信頼関係が生まれます。

❖相手の国のことを少しでも知ろうと、本を購入して歴史や地理、風土について少し学習しました。学習中はまず世間話（相手の方が自分のことや自国のことを話せるような話題）から入るようにしました。学習後、ご自分の部屋に招いてくださり、手作りの自国料理を振る舞ってくださったことは本当に印象的で嬉しかったです。

❖以前は、特にグループレッスンの準備には、時間をかけるほど良いと考えていた。最近は、自分が楽しんでいると相手もリラックスし、結果として学びが深くなると気づき、まずは自分が落ち着いて授業に向かうようにしている。準備はもちろん大切だが（今まで調べたり勉強したりしてきたことを土台にしている）、今は学習者の現状やニーズを探りながら一緒に授業を作っていく雰囲気を大切にしたいと思っている。個人・グループともに会話中心の活動のため、「面白い」「楽しい」と感じる瞬間はフリートークでよくある。例えばごく最近では、UNIQLO を知らない学習者がいて他のメンバーが盛り上がり、「ヒートテック」を説明し合うなど、自然な会話練習になった場面が印象に残っている。

❖やさしい日本語を心がけているつもりですが、なかなか説明が難しい時もあるので、とにかくゆっくり話すようにしています。それぞれの国の、お店で食べるような食べ物ではなく、普段の家庭料理のおすそめを聞くと、そのおいしさをがんばって表現し、説明してくれるので、相手の文化に触れた気がしてワクワクします。

❖あらかじめ 相手の国のことを少しでも調べて 迷惑に にならないようなことは言わないようにしたり また 遠回しにすいませんと言ってお尋ねしたりします

❖出身あるいはルーツのある国について、少しでも知っておこうと考えます。

- ❖ 外国語（としての日本語）を学ぶ姿勢に敬意を抱きます。
- ❖ 自身が知らない日本の情報について彼らから聞くことが時々あります。
- ❖ 外国人というより、年若い人との交流が何よりも楽しいです。
- ❖ ランチに誘われたことが数回あります（いずれもベトナム人からでした）。
- ❖ 相手国の歴史、政治情勢や宗教などを事前に理解しておく必要がある。
- ❖ 新しいことを学ぶのは楽しいです。また、頭がよく、意識の高い人たちと接することは、刺激になります。

④みなさんの周囲の方で、双方からのこんな文化理解の取り組みや工夫が見られた、こんな失敗談（失敗からの経験等）を聞いたことがあれば、教えてください。

❖保土谷ラウンジでのフェスタに招待しました。そこでは羽織袴を身に着け、写真に撮ったりし、楽しんでいました。本人曰く、「もう少し長い時間着ていたかった。そして、刀があればもっと様になった」とのことでした。

❖日本人とさ、他人との距離の取り方や、コミュニケーションのスタイルが異なるため、友達が作りにくいという留学生は非常に多いですね。

❖就職サポートをされた方の話で、自分が何をしたいのかわからない、というキャリアの根源的な問題に悩まれていたので対応が難しいと判断して双方合意のもとでサポートを解除されたというお話を聞きました。

❖日本文化といっても、全員が茶道や歌舞伎などの伝統文化に興味があるとは限らないため、押しつけにならないよう気をつけている。こちらも、アニメや漫画が好きな学習者に合わせようといくつか観たり読んだりしたが、すぐに挫折してしまったこともある。

❖YISHでの活動を通して、相手が食べられるもの、食べられないものを確認する習慣ができました。（宗教的に、小さい子には砂糖はあまり食べさせていない、アレルギー表示の確認など）

❖自身のことですが、日本語のリズムや和歌について学んだことを紹介しています。

❖専門的に学んだことがないので、不十分なところが多くあります。

❖白人と黒人の友情を描いた映画を、私は感動的な映画だった感じたが、アジアのルーツを持つアメリカ人は、全然面白くない、むしろ白人の優越感を描いた差別的な作品だ、と感じていたこと。

❖日本の文化や歴史が大好きで一生懸命勉強したり本を読んだり、歴史に関係のある場所に足を運んだりしている海外から来た人々を見ると、とても嬉しくなります。時には電車の中で一生懸命漢字の単語帳を見たりしている人もいて、素晴らしいな、と思ったこともあります。

⑤上記テーマに関して、日頃から感じていることや思っていることを自由に書いてください。

❖前に一回だけ就職相談があっただけで、最近やっていません。フランス語圏アフリカのかたがいたらやりたいです

❖お互いの違いを理解することが第一ですね。

❖まだ経験が浅いという前提ですが、先生と生徒という関係では決してないと思うので、友達になりたい、という気持ちで接することが大事だと思いますし、そのように振る舞ってきました。

❖子どもの頃から外国の文化や歴史、地理に強い関心があり、高校生の頃は海外文通に夢中だった。大人になってからは海外旅行が最大の楽しみだった。今、ボランティアを通じて海外の人と出会う機会があることをとても幸せに思っている。言葉など表面的な部分だけでなく、人としての中身で向き合うことが大切だと感じながら活動している。

❖異文化理解だけではないですが、個人と個人のコミュニケーションには、言語能力だけではなく「相手がわかりやすいように、こちらが工夫する」姿勢があれば、気持ちのよいやりとりができ、より相互理解につながるのかなと感じています。

❖・少子高齢化が進むこの国で、外国人との共生は避けられません。異文化との接点を見つけることの楽しさを多くの日本人が知るべきでしょう。

❖「日本人ファースト」のような排外主義的な言葉が広がる状況について、同じ日本人として、彼らにどのように説明すべきかに悩みます。

❖日本語能力検定の N1 など、現代社会にはもう使われないような語彙や成句が多く出題されることに疑問を感じます。

❖いろいろな考え方があることを常に意識していきたい。

❖いろいろな体験談を伺うことができると、ありがたいと思います。